

# ファーストイーサネット・スイッチ CentreCOM FS704TP ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FS704TPをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品は、10BASE-T/100BASE-TXオートネゴシエーションポートを4ポート装備したファーストイーサネット・スイッチです。  
本製品の使用により、既存のイーサネットLANシステムにおけるアプリケーションやネットワークソフトウェアの変更を必要とせず、簡単にパフォーマンスを向上させることができます。本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

## ● 特長

- 1,024 個の MAC アドレス登録数をサポート
- オートネゴシエーション機能をサポート
- カスケードポートを1ポート装備
- 信頼性の高いストア&フォワードのスイッチングモード
- AC電源を内蔵
- ポートごとの通信状況が一目でわかるLEDを装備
- マグネットやウォールマウントキットで垂直面への設置可能

## ● 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。

- CentreCOM FS704TP 本体 (1台)
- ウォールマウント用タッピングスクリュー (2個)
- ウォールマウント用プラスチックアンカー (2個)
- 製品保証書 (3年保証)
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号シール
- ユーザーマニュアル (本書)

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

## ● 各部の名称と機能

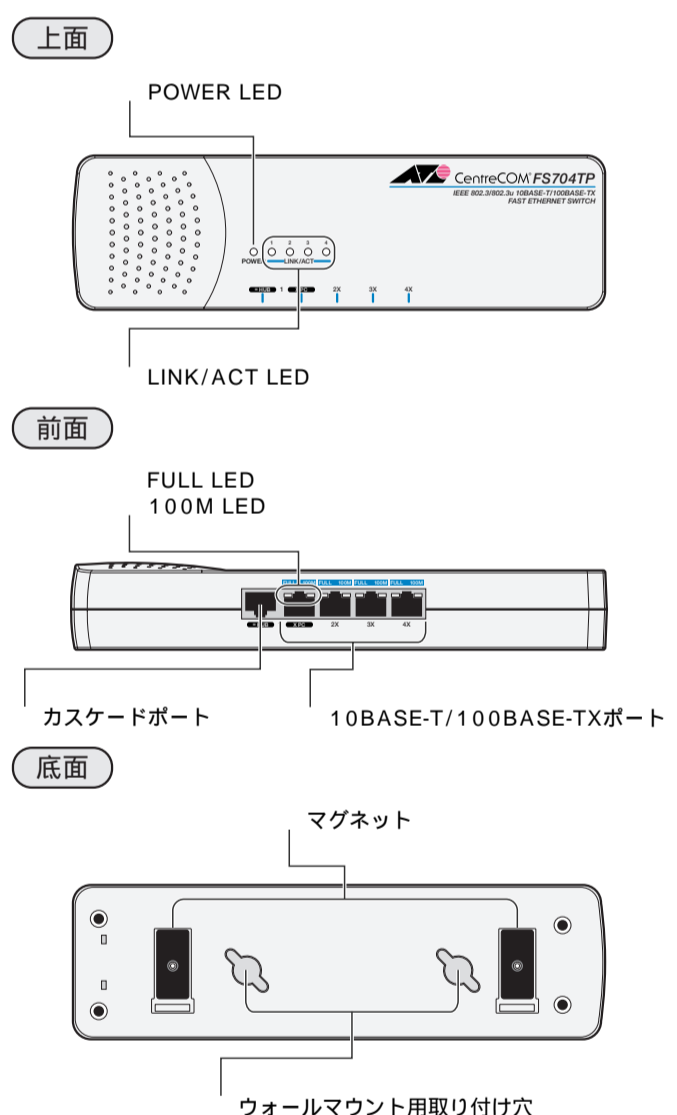


図1 外観図

- POWER LED (緑)**  
電源が正しく供給されているときに点灯します。
- LINK/ACT LED (緑)**  
ポートと接続先の機器がリンクしたときに点灯します。また、ポートがパケットを受信しているときに点滅します。
- カスケードポート (= HUBポート) のLINK/ACT LEDは、ポート1(X PCポート)と共用になっています。**
- FULL LED (緑)**  
ポートが Full Duplex で動作しているときに点灯します。(ポートが Half Duplex で動作している場合は、点灯しません。)
- カスケードポート (= HUBポート) のFULL LEDは、ポート1(X PCポート)と共用になっています。**
- 100M LED (緑)**  
ポートが 100Mbps で動作しているときに点灯します。(ポートが 10Mbps で動作している場合は、点灯しません。)
- カスケードポート (= HUBポート) の100M LEDは、ポート1(X PCポート)と共用になっています。**

カスケードポート (= HUBポート) 10BASE-T/100BASE-TX の UTP ケーブルを接続するためのコネクタで、他のリピータやスイッチと接続する場合に使用するカスケード接続専用ポートです。  
このポートは、オートネゴシエーションによって通信速度 (100Mbps/10Mbps) と通信モード (Full Duplex/Half Duplex) を自動検出し、最適な状態で接続します。

このポートは、10BASE-T/100BASE-TX のポート1(X PCポート)と共用のため、ポート1(X PCポート)と同時に使用することはできません。

10BASE-T/100BASE-TX ポート 10BASE-T/100BASE-TX の UTP ケーブルを接続するためのコネクタです。  
このポートは、オートネゴシエーションによって通信速度 (100Mbps/10Mbps) と通信モード (Full Duplex/Half Duplex) を自動検出し、最適な状態で接続します。

マグネット  
デスクサイドやスチール製パーティションなどに設置するためのマグネットです。

ウォールマウント用取り付け穴  
同梱のウォールマウントキットを使用して、壁面に設置するための取り付け穴です。

## ● 設置するまえに

設置場所  
本製品を設定する場所については、次の点にご注意ください。

電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような配置は避けてください。  
直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。  
振動の多い場所や、不安定な場所に設置しないでください。  
十分な換気ができるように、本体上面、および側面をふさがないように設置してください。  
テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。  
指定された電源電圧 (AC100-120V) 以外で使用しないでください。

マグネットによる取り付け  
本体底面のマグネットを使用すると、本製品を簡単に金属面へ取り付けすることができます。

設置面の状態によってはマグネットの十分な強度を得られないことがあります。

- 注意** ケーブルの重みにより、機器が落下しないように確実に取り付けてください。落下により、ケガの原因となることがあります。
- 禁止** マグネットで機器を高所に取り付けしないでください。機器の落下により、ケガの原因となることがあります。
- 禁止** マグネットで機器を振動、衝撃の多い場所や不安定な場所に取り付けしないでください。機器の落下により、ケガの原因となることがあります。
- 禁止** マグネットで機器をOAデスクなどに取り付けたまま、機器をずらさないでください。被着面の塗装などに傷がつくおそれがあります。
- 禁止** マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により、記録内容が消去されるおそれがあります。
- 禁止** マグネットをパソコンやディスプレイなど、磁気の影響を受けやすい電子機器に近づけないでください。磁気の影響により、故障の原因となることがあります。

壁への取り付け  
付属のウォールマウント用タッピングスクリュー (必要な場合は、プラスチックアンカー) を使用すると、本製品を壁などの垂直な面に取り付けることができます。

石膏ボード、ベニヤなど、中空になっている壁に取り付ける場合は、プラスチックアンカーを併用してください。本体と UTP ケーブルを合わせ、最大 3kg 程度の垂直重量が加わりますので、取り付けはしっかりした壁に行ってください。手で押しただけでへこんでしまうような壁には取り付けしないでください。

- 次の点を考慮して、設置場所と設置方向を決めてください。
  - ケーブルおよびアダプタの接続が可能であること
  - LEDの表示が監視可能であること
- タッピングスクリューを埋め込む位置を決めます。このとき、タッピングスクリューの間隔が本体底面にある2つの取り付け穴の間隔 (93.2mm) と同じになるように注意してください。

壁にタッピングスクリューを直接つけることができない場合は、プラスチックアンカーを使用します。プラスチックアンカーは、あらかじめきりやドリルなどで開けたおいた穴に押し込み、かなづちで軽くたたいて壁に埋め込みます。穴はプラスチックアンカーがやっと入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎるとがたつきの原因となります。

- ネジ頭を5mmほど残して、タッピングスクリューを壁または、プラスチックアンカー) にねじ込みます。
- 壁から突き出ているネジ頭を本体底面の取り付け穴に差し込むようにして、本体を壁に取り付けます。ネジ頭がスロットにはまるまで本体をスライドさせ、しっかりと固定させてください。

## ● 接続のしかた

ケーブル  
すべてのケーブルが機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。本製品と端末を接続するケーブルの長さ、また、本製品とリピータやスイッチを接続するケーブルの長さはすべて 100m 以内にしてください。また、ケーブルは100BASE-TXの場合はカテゴリ5、10BASE-Tの場合はカテゴリ3以上のUTPケーブル (ストレートタイプ) を使用してください。

起動と停止  
図2のように電源コードのプラグを電源コンセント (AC100V) に差し込むと起動します。電源プラグをはずすと停止します。

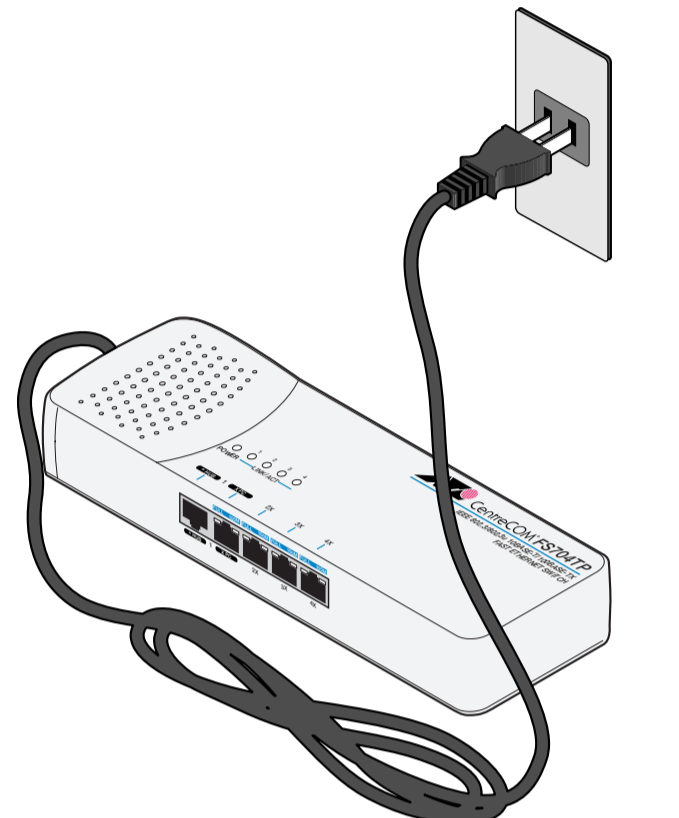


図2 電源コードの接続

通信モード  
接続先の機器の通信モードは、表1の 印の組み合わせになるように設定してください。  
IEEE 802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない機器と本製品を接続する場合は、接続先の機器の通信モードを Half Duplex に設定します。

相手ポート	自ポート (CentreCOM FS704TP)	
	10M Half	10M Full
100M Half	100M Full	
オートネゴシエーション		

表1 通信モードの組み合わせ

- 接続手順
- 本体前面の10BASE-T/100BASE-TXポートにUTPケーブルを接続します。
  - ネットワークに接続する端末に、10BASE-T/100BASE-TXネットワークインターフェイスカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTPケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェイスカードに接続します。
  - 電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。
  - 本体上面のPOWER LED (緑) が点灯したことを確認します。UTPケーブルが正しく接続され、端末の電源が入っていれば、接続したポートのLINK/ACT LED (緑) が点灯します。

## ● スタンドアローン

本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用することができます。本製品と端末間の UTP ケーブルの長さは 100m 以内です。

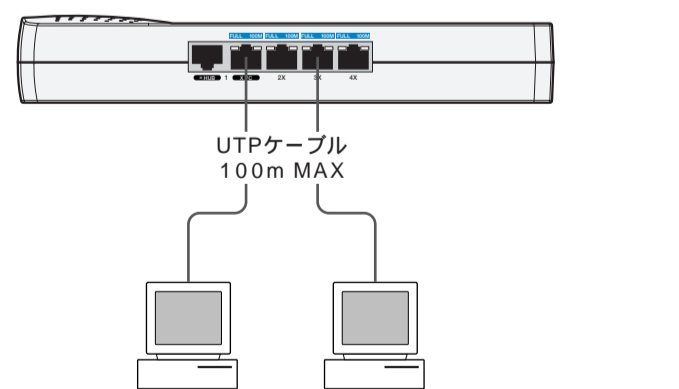


図3 スタンドアローンの接続例

## ● カスケード接続

カスケードポート (= HUBポート) を使用すると、ケーブルをクロスタイプに変更することなく、簡単にカスケード接続を行うことができます。また、スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。本製品とリピータやスイッチを接続する UTP ケーブルの長さは 100m 以内です。

カスケード接続をする場合は、本体前面のカスケードポート (= HUBポート) に UTP ケーブル (ストレートタイプ) を接続し、UTP ケーブルのもう一方の端を、接続先の機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートに接続します。

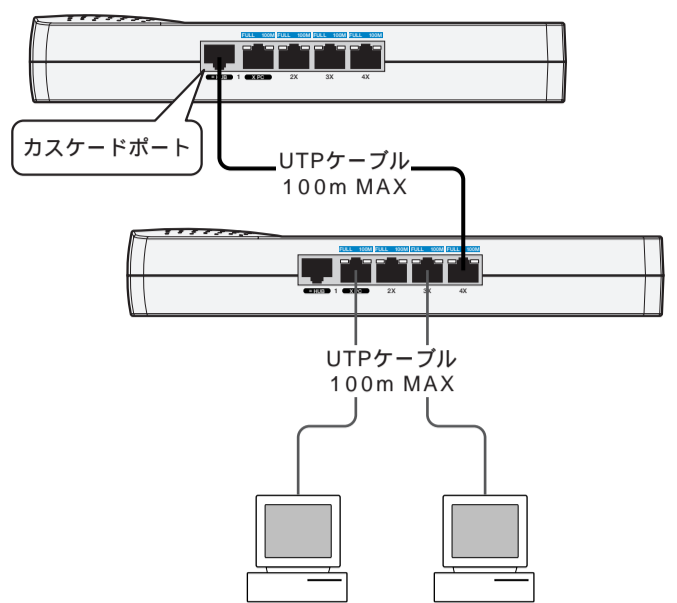


図4 カスケード接続の例

## ● トラブルシューティング

本製品が正しく動作しない場合は、次のことを確認してください。

POWER LED は点灯していますか?  
POWER LED が点灯しない場合は、電源コードに断線がないか、電源コードが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

LINK/ACT LED は点灯していますか?  
LINK/ACT LED は接続先の機器と正しく接続されているときに点灯します。点灯しない場合は、次のことを確認してください。

接続先の機器に電源が入っているかを確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェイスカードに障害がないか、ネットワークインターフェイスカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。本製品と端末を接続するケーブルの長さ、本製品とリピータやスイッチを接続するケーブルの長さはすべて 100m 以内です。

接続先の機器の通信モードを確認してください。本製品の10BASE-T/100BASE-TXポート (カスケードポート) は、オートネゴシエーション機能をサポートしています。IEEE 802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先の機器の通信モードを Half Duplex に設定してください。

本製品のカスケードポートを確認してください。本製品のカスケードポート (= HUBポート) を使用して、リピータやスイッチとカスケード接続する場合は、本製品のカスケードポートと他のリピータやスイッチの通常の10BASE-T/100BASE-TXポートをUTPケーブル (ストレートタイプ) で接続してください。

リピータを接続している場合、リピータの数が制限を越えていないか確認してください。10Mbps接続の場合、本製品にカスケードできるリピータの数は4段までとなります。100Mbps接続の場合、本製品にカスケードできるクラスIリピータの数は1段、クラスIIリピータの数は2段までとなります。

特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

## ● 製品仕様

- サポート規格**  
IEEE802.3/IEEE802.3u
- 転送モード**  
ストア&フォワード方式
- 電源部**  
定格入力電圧 : AC100-120 V  
入力電圧範囲 : AC90 ~ 132V  
定格周波数 : 50/60Hz  
平均消費電力 : 6.2W (最大 8W)  
平均発熱量 : 5.3kcal/h (最大 6.9kcal/h)
- 環境条件**  
保管時温度 : -20 ~ 60  
保管時湿度 : 95% 以下 (ただし、結露なきこと)  
動作時温度 : 0 ~ 40  
動作時湿度 : 80% 以下 (ただし、結露なきこと)
- 外形寸法 (突起部含まず)**  
: 235 W x 68 D x 38.5 H mm

- 重量**  
: 450g
- MAC アドレス登録数**  
: 1,024 個
- 適用規格**  
EMI 規格 : VCCI クラス A

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

# 調査依頼書 (CentreCOM FS704TP)

年 月 日

## ● 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。

「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

### 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

## ● ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先に FAX してください。

電話による直接の問い合わせはなるべくご遠慮ください。

FAX で詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。

記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

アライドテレシス サポートセンター

Tel: 0120-860-772

月～金(祝・祭日を除く)10:00～19:00

土(祝・祭日を除く)10:00～17:00

Fax: 0120-860-662

年中無休 24時間受け付け

## ● 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。

迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点にそってご記入ください。記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

## ● 使用しているハードウェアについて

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。

(例)  S/N 000770000002346 Rev AA

## ● お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入してください。

エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

## ● ネットワーク構成について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

## ● おことわり

本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部、または全部をコピー、または転載することを禁じます。

予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。

改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。本製品の内容、またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright 1999 アライドテレシス株式会社

## ● 商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

## ● マニュアルバージョン

1999年7月 Rev.A 初版

## 一般事項

### 1. 御社名:

部署名:

ご担当者:

ご連絡先住所:〒

TEL: ( )

FAX: ( )

### 2. 購入先:

購入先担当者:

購入年月日:

連絡先(TEL): ( )

## ハードウェアとネットワーク構成

### 1. ご使用のハードウェア機種(製品名)、シリアル番号、リビジョン

製品名: CentreCOM FS704TP



### 2. お問い合わせ内容

別紙あり

別紙なし

設置中に起こっている障害

設置後、運用中に起こっている障害

### 3. ネットワーク構成図

別紙あり

別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

## 使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項は必ず守ってください。守られていない場合、感電やケガ、火災、故障の原因となります。



**分解禁止**  
分解や改造をしない  
ネジで固定されているパネルやカバーを開けたり、部品を変更して使用したりしないでください。  
内部には電圧が高い部分があり、感電や発火のおそれがあります。



**感電注意**  
雷発生時には装置にさわらない  
雷発生時には、本体、および電源コード、接続ケーブルなどにさわらないでください。  
雷発生時に本体、ケーブル類に触れると感電のおそれがあります。



**禁止**  
指定の電源電圧以外を使用しない  
電源コードは、AC100Vのコンセント以外に差し込まないでください。  
また、タコ足配線をしないでください。  
他の装置と併用すると、分岐コンセント部の発熱による発火や感電のおそれがあります。  
なお、本製品の定格電源は、AC100V-120V となっています。



**指示**  
通気口をふさがないように設置する  
本製品の通気口をふさがないように設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



**禁止**  
電源コードを傷つけない  
電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。  
また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災や感電のおそれがあります。



**禁止**  
不適切な場所に設置や保管をしない  
次のような場所に設置や保管をしないでください。  
火災や感電の原因となることがあります。  
・直射日光の当たる場所  
・高温、多湿の場所  
・火気のある場所  
・ほこりが多い場所  
・振動が激しい場所  
・腐食性のガスが発生する場所



**プラグを抜け**  
設置や移動のときは電源プラグを抜く  
本製品の設置、および移動を行う場合は、接続されている機器の電源スイッチを切り、電源コードをはずしてから行ってください。  
電源コードが傷つき、火災や、感電の原因となったり、機器の落下などによりケガの原因となることがあります。



**指示**  
本体ボディのお手入れ  
本体ボディのお手入れは、柔らかい乾いた布でふいてください。  
汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤をふくんだ布でふいた後、からぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。  
温度 0～40% 湿度 80%以下(ただし、結露なきこと)